

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	洋上風車基地港SEP船レグ貫入対策法の検討に関する研究委託
業 務 概 要	本委託業務は、洋上風車基地港の岸壁前面地盤の SEP 船レグ貫入対策を検証するため、遠心模型実験装置を用いた模型実験を実施し、対策効果の確認と支持力推定式の抽出及び砕石仕様の検討を行うものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 東北地方整備局副局長 大野 昌仁 宮城県仙台市青葉区本町3-3-1
契 約 年 月 日	令和4年4月20日
契 約 業 者 名	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所
契 約 業 者 の 住 所	神奈川県横須賀市長瀬三丁目1番1号
契 約 金 額	30,003,600 円(税込)
予 定 価 格	30,003,743 円(税込)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業 種 区 分	建設コンサルタント等
履 行 期 間 (自)	令和4年4月20日
履 行 期 間 (至)	令和5年3月10日
備 考	

随意契約理由書

1. 件 名

洋上風車基地港 SEP 船レグ貫入対策法の検討に関する研究委託

2. 選定業者名

国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所

住所:〒239-0826 神奈川県横須賀市長瀬3-1-1

電話:046-844-5010

3. 選定理由

洋上風車基地港の岸壁には SEP 船が停泊し、荷役時にはレグを岸壁前面の海底地盤上に着底する。SEP 船レグの貫入力は大きいため、岸壁へ悪影響を及ぼさないための岸壁前面地盤の貫入対策が必要となる。貫入対策の経済的な手法としては砕石によるマウンドを設置することが有力であるが、その効果や断面設計を行う手法が確立されていない。

本委託業務(以下、本業務)は、洋上風車基地港の岸壁前面地盤の SEP 船レグ貫入対策を検証するため、遠心模型実験装置を用いた模型実験を実施し、対策効果の確認及び検討を行うものである。

本業務の履行にあたっては、下記に示す技術力に関する要件を満たすことが必要となる。

【技術力に関する要件】

- ①洋上風車基地港の岸壁前面地盤を模擬した地盤模型を作製し、地盤への載荷挙動を適切に再現可能な規模の遠心模型実験装置(載荷装置、画像解析システムを含む)に精通し、これを使いこなすことができること。

国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所は、港湾及び空港の整備等に関する調査、研究及び技術の開発等を行うことにより、効率的かつ円滑な港湾及び空港の整備等に資するとともに、港湾及び空港の整備等に関する技術の向上を図ることを目的として設立された機関であり、独立行政法人通則法に則って、公正かつ中立的な立場から港湾及び空港の整備等に関する調査、研究及び技術の開発等を行っており、港湾の施設整備に関する豊富な知見を有している。また、技術力に関する要件に示される設備を用いた研究実績を多数有するとともに、類似の研究においても適切な成果を挙げており、先進的かつ高度な専門技術を有している。

上記要件で参加者の有無を確認する公募を行ったところ、参加者がいなかったことから、本業務について上記要件を満たしている国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所と会計法第29条の3第4項の規定に基づき、随意契約を行うものである。